

成果の説明書

|   |             |
|---|-------------|
| (氏名) 片岡美喜   | (学部) 地域政策学部 |
| 1 重要事項  |             |
| <b>【研究業績】</b>   |             |
| 1.論文  |             |
| (1) 小野雅之・片岡美喜「座長解題 2015 年度 大会シンポジウム 農協共販の未来を考える」『農業市場研究』日本農業市場学会、第 24 巻第 3 号、p1-2 (2015)  |             |
| (2) 高津英俊・片岡美喜「女性就農希望者への農業研修事業に関する課題検討—A 農業生産法人を対象に—」『日本農業教育学会誌』日本農業教育学会、第 46 号別号、p45-48 (2015)  |             |
| 2. 学会発表、招待講演など  |             |
| (1)小野雅之・片岡美喜 (シンポジウム座長)「2015 年度 大会シンポジウム 農協共販の未来を考える」日本農業市場学会 2015 年度大会、宇都宮大学 2015 年 6 月 27 日   |             |
| (2)片岡美喜・高津英俊「農産物直売所における買物弱者支援の運営実態と展望」日本農業市場学会 2015 年度大会個別報告、宇都宮大学、2015 年 6 月 28 日  |             |
| (3)高津英俊・片岡美喜「女性就農希望者への農業研修事業に関する課題検討—A 農業生産法人を対象に—」第 73 回 日本農業教育学会講演会、千葉大学、2015 年 8 月 30 日  |             |
| (4)片岡美喜 (招待講演)「私の原点—連大で得られた学びと姿勢—」愛媛大学大学院連合農学研究科設立 30 周年記念式典、国際ホテル松山、2015 年 10 月 31 日   |             |
| <b>【競争的資金】</b>  |             |
| (1)日本学術振興会科学研究費若手研究 (B)「農業分野および地域農業における社会貢献型事業の経営分析」研究課題番号:26850140、2014 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日、研究代表者:片岡美喜   |             |
| (2)日本学術振興会科学研究費基盤研究 (C)「農地流動化進展地域における地域農業ガバナンスの再編と機能化に関する研究」研究課題番号:15K07606、2015 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日、研究分担者:片岡美喜、研究代表者:伊庭治彦 (京都大学)   |             |
| <b>【教育上の取組、地域活動】</b>  |             |
| ・群馬県やまさと応縁隊として、本ゼミナール 3 年生および 4 年生が群馬県片品村におけるグリーンツーリズム振興に関する活動を実施した。<br>今年度は、村民と若者の交流イベント「カタコト 2016」の実施、片品村内の児童を対象とした 3 泊 4 日のキッズキャンプの引率、片品収穫祭での地産地消ワッフルの販売、村内関係者向けへの感謝祭の実施などを行った。加えて、学生らの資源調査による観光マップ「グリーン街道・わき道のヒミツ」は 5000 部印刷し、県内外での配布を開始している。また、学生らが片品の人や資源、魅力に注目した「かたしなカルタ」を作成し、同村内かたしな屋にて村内児童らによるカルタ大会が実施された。 |             |
| ・今年で協力が 9 年目になるたかさき雷舞フェスティバルの実行委員として、3 年ゼミ生を中心に企画・運営を行った。メイン会場の企画・運営、地場産農産物を活用したワッフルの開発と販売を行った。4 年生のゼミ生らは同フェスティバルにて、ダンスチームを結成し、大変好評を得た。   |             |
| ・8 月 18-20 日に、関連分野を専攻する他大学のゼミナールと合同で、5 大学合同ゼ  |             |

ミナールを実施した。本年度は、和歌山大学観光学部の企画により、和歌山県の秋津野ガルデンを拠点に、学習と現地調査を実施し、本ゼミからは10名が参加した。

・9月7-9日に、3年ゼミ生の企画・運営による2年生と合同調査を、長野県安曇野市、松本市で実施した。

・ゼミ生の研究発表の場として、12月6日に東京大学で開催された全国エコツーリズム学生シンポジウムにて、ゼミの2年生と3年生が研究発表を行った。ポスター報告に加えて、研究発表に選定され、片品村内での都市・農村交流活動における域学連携の効果と課題に関して発表を行った。

このほかの研究発表の機会として、2月16日には群馬県産業技術センターにて、やまさと応縁サミット内で片品村内での活動報告を広く発表した。同日、高崎市産業館にて公立4大学研究発表会においても、本ゼミナールの1年間の学習・研究成果の報告を行っている。

#### 【大学内での委員会での業務】

- ・広報委員会
- ・ホームカミングデイ委員

#### 【大学外での社会活動】

- ・軽井沢町まちづくり委員
- ・群馬県情報公開審議会委員
- ・「尾瀬の郷片品」むら・ひと・しごと創生本部 有識者会議委員
- ・内閣府総合特区 評価・検討委員会委員 <まちづくり等分野>
- ・日本農業市場学会 企画委員、理事
- ・日本地域政策学会 編集委員
- ・日本農業経営学会 編集委員
- ・地域農林経済学会 編集委員

#### 2 その他の事項

#### 3 次年度以降の計画・抱負

今年度は昨年度に引き続き、地域活動に積極的に取り組むとともに、自身の研究においても多くの地域調査を実施する。そのうえで、国内外での論文等で公表をゆくものとする。